

綿業年次一編 織物仲組の回顧

友愛会十八週年大會に於て産業利権仲組を組織する  
 こととなり、江戸方面に於ける紡織物仲組を糾合して紡  
 織物仲組の榮信、才と譽れ、一時十名此を擁護す  
 るに至るも、大正九年富士紡織工切争議、終り、奴  
 の結果、僅かに東京千柳吾地、工場上員の少数を  
 以て組織し、年々ゆるがせ年の行は、富士紡織争議  
 以来、若くは、資派、本ら、秀、七、大会を、因、作、す、は、  
 力、の、身、と、短、途、を、報、告、す、給、つ、て、本、記、の、書、記、を、位  
 年、し、老、支、事、を、此、の、資、派、集、団、を、各、々、を、記、す、  
 五、回、同、休、期、十、時、四、十五、分、兩、會、は、身、體、的、的、其、其、其、其、  
 長大、勤、件、忠、より、一九二二、を、存、留、控、者、と、認、め、る

台と報出満均一致を池沼の議を遊學の比格、司、信、忠、が、  
 山根と稱し、副議長は、堀、京、を、推、し、異、議、無、し、可、快、う  
 友愛團體の代表祝辭、滿、説

- 岡田会同弟仲組左(細尾、和、右) 東京華工組合(日、生、義、
  - 明) 東京鉄工組合(川、孝、右、甚) 東京瀧邊芳仲組合
  - (十、若、井、和、幼) 岡田同組(吉、藤、健、一) 総同盟
  - 人高花(松、岡、駒、右) 總同盟止保堂(一、白、波、会、
  - (送、田、森、哲、平) 連友同会(石、塚、幸、次、平)
- 廣、説、要、し、也、

白、車、の、運、業、は、織、維、工、業、を、指、つ、て、他、に、な、し、斯、業、に、従、う、る、事、  
 物、を、八、十、分、止、り、給、う、工、切、争、議、者、九、十、九、五、中、の、言、は、は、之、の、由、に、従、  
 る、事、も、此、に、苦、仲、途、功、を、織、維、工、切、争、議、者、を、指、し、